

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
**Image Problem Mailbox.**



日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年12月27日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-404973

[ST.10/C]:

[JP2000-404973]

出 願 人

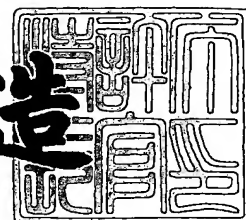
Applicant(s):

アークレイ株式会社

2002年 3月 5日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2002-3013825

【書類名】 特許願

【整理番号】 P687

【提出日】 平成12年12月27日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04L 12/00  
G06F 19/00

【請求項の数】 2

【発明者】

【住所又は居所】 京都府京都市南区東九条西明田町57番地 アークレイ  
株式会社内

【氏名】 西 健三

【特許出願人】

【識別番号】 000141897

【電話番号】 075-662-8956

【住所又は居所】 京都市南区東九条西明田町57

【氏名又は名称】 アークレイ株式会社

【代表者】 土井 茂

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【書類名】 明細書

【発明の名称】 健康データ管理装置およびそれを用いた運動指導方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 外部と通信を行うための外部通信手段と、

前記外部通信手段により健康管理に関する目標値を受信して記憶する目標値記憶手段と、

健康関連データを取得する健康関連データ取得手段と、

健康関連データを記録する健康関連データ記録手段と、

前記目標値記憶手段に記憶されて目標値と前記健康関連データ記憶手段に記憶されている健康関連データを外部に送信する外部送信手段と、

外部に送信した健康関連データに基づくアドバイス情報を外部より受信し記憶するアドバイス情報記憶手段と、

前記アドバイス情報を表示する表示手段を有することを特徴とする健康データ管理装置。

【請求項 2】 前記健康データ管理装置と前記健康データ管理装置と情報の送受信を行うサーバより構成され、

前記サーバ内に設定された運動指導計画により運動目標値の設定を行い、前記サーバより前記健康データ管理装置に目標値の送信を行い、

前記健康データ管理装置は目標値を受信すると画面に表示するとともに前記目標値記憶手段に記憶し、前記目標値表示後に得られた心拍データや歩数データなどの健康関連データを取得し、前記目標値とともに前記健康関連データを前記サーバに送信し、

前記サーバでは、前記目標値と前記健康関連データに基づきアドバイス情報を発生させ前記健康データ管理装置に送信し、

前記健康データ管理装置は前記アドバイス情報を表示部に表示することを特徴とする請求項 1 に記載の健康データ管理装置を用いた運動指導方法。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、歩いた歩数や心拍数などの健康関連データを取得し、その結果に基づいて利用者にアドバイスを送る健康データ管理装置に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

健康維持のために毎日ウォーキングなどの軽い運動を行うことが推奨されており、小型の歩数計をベルトなどに取り付け毎日決まった歩数以上歩くことを継続する人が増えている。

【 0 0 0 3 】

特開 2 0 0 0 - 2 0 9 1 4 2 号公報には携帯電話に歩数計を内蔵し、歩数を携帯電話のメモリに記憶したり、使用者の歩幅を記録しておき歩数から歩行距離を算出しグラフで表示する機能を有する携帯電話が開示されている。この携帯電話によると歩数計の機能を常時携帯する携帯電話自身に内蔵することによりわざわざ別に歩数計を携帯しなくてもよいというメリットがある。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

上記携帯電話によると歩数や歩行距離はわかるものの適切な運動ができているかどうか使用者は知ることができない。また、運動負荷などのアドバイスを受けることができないため使用者は運動負荷についての知識を自ら学習し運動中の運動負荷の状況を自分自身でコントロールしなければならなかった。そのために自分の健康状態と運動負荷の状況にあった運動をうまく設定することができず、運動負荷をかけすぎたり、逆に運動負荷が十分でないために運動に時間をかけた割に運動の効果が得られないといった問題があった。

【 0 0 0 5 】

また、上記携帯電話では歩数計と携帯電話が一体になっているもののその機能は携帯電話のあまった能力で単に歩数計の機能を行うといったものに留まり携帯電話と歩数計が一体になったために生じる効果が何もない。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

本発明は上記課題に鑑みなされたものであり、健康データ管理装置は外部と通

信を行うための外部通信手段と、前記外部通信手段により健康管理に関する目標値を受信して記憶する目標値記憶手段と、健康関連データを取得する健康関連データ取得手段と、健康関連データを記録する健康関連データ記録手段と、前記目標値記憶手段に記憶されて目標値と前記健康関連データ記憶手段に記憶されている健康関連データを外部に送信する外部送信手段と、外部に送信した健康関連データに基くアドバイス情報を外部より受信し記憶するアドバイス情報記憶手段と、前記アドバイス情報を表示する表示手段により構成する。

## 【 0 0 0 7 】

さらに、前記健康データ管理装置をサーバと接続し、前記サーバ内に設定された運動指導計画により運動目標値の設定を行い、前記サーバより前記健康データ管理装置に目標値の送信を行い、前記健康データ管理装置は目標値を受信すると画面に表示するとともに前記目標値記憶手段に記憶し、前記目標値表示後に得られた心拍データや歩数データなどの健康関連データを取得し、前記目標値とともに前記健康関連データを前記サーバに送信し、前記サーバでは、前記目標値と前記健康関連データに基づきアドバイス情報を発生させ前記健康データ管理装置に送信し、前記健康データ管理装置は前記アドバイス情報を表示部に表示する。

## 【 0 0 0 8 】

## 【発明の実施の形態】

本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

## 【 0 0 0 9 】

図 1 に本発明の多機能通信装置の構成をブロック図で示す。健康データ管理装置 1 は、外部と通信を行うための外部通信部と表示部と記憶部を有している。前記健康データ管理装置 1 は外部通信部 1 1 より電話網やインターネットを介してサーバに接続され情報のやり取りを行う。記憶部にはサーバから送信されてきた目標値を記憶する目標値記憶部 1 4 と連衡関連データを記録する健康関連データ記録部 1 5 と前記サーバより遅れてきたアドバイス情報を記憶するアドバイス情報記憶部 1 6 により構成されている。

## 【 0 0 1 0 】

## (実施の形態 1)

前記サーバには前記健康データ管理装置使用者のトレーニング計画が図2のように計画されトレーニング計画記憶部22の記憶されており、前記トレーニング計画に従い前記サーバは心拍数の目標値を設定し前記健康データ管理装置1に送信する。心拍数の目標値は前記トレーニング計画記憶部22に記憶されている図2のトレーニング計画より設定される。

#### 【0011】

月曜日のトレーニングの目標値を図2の表より心拍数120-140の範囲の運動を40分、心拍数140-160の運動を40分行うという目標を設定し前記サーバ2から前記健康データ管理装置1の送信し前記表示部13に表示するとともに前記目標記憶部14に記憶する。

#### 【0012】

使用者は、前記表示部13に表示した目標値を参照して運動を行う。前記使用者は心拍検出部を身体に取りつけ運動を行う。前記心拍検出部（図示せず）は心拍を検知すると微弱電波で健康関連データ取得部17に送信し、前記健康関連データ取得部17は心拍数データに変換し前記健康関連データ記憶部15に記憶する。前記健康データ管理装置1は予め設定された時間（例えば午後3時）になると前記サーバ2に前記健康管理データ記憶部15に記憶されている心拍数データと前記目標記憶部14に記憶されている目標値とともに前記サーバ2に送信する。前記健康関連データ記憶部15に記憶されている心拍数データが心拍数120-140の運動が45分、心拍数140-160の運動が20分であったとすれば前記サーバ2は心拍数140-160の心拍数の運動が後20分以上必要を判断して「心拍数140-160の運動負荷で20分以上トレーニングをしてください」とアドバイスを前記健康データ管理装置1に送信し前記健康データ管理装置1は前記アドバイスを受信すると前記表示部13に表示し使用者にアドバイスを与える。

#### 【0013】

火曜日には心拍数160-172の範囲の運動を15分×3本行うという目標を設定し前記サーバ2から前記健康データ管理装置1の送信し前記表示部13に表示するとともに前記目標記憶部14に記憶する。

## 【 0 0 1 4 】

使用者は月曜日と同様に心拍数を測定しながらトレーニングを行い心拍数データと目標値を前記サーバ2に送信する。火曜日のデータが心拍数160-172の範囲の運動が2本と心拍数173以上の範囲での運動が25分であったとすれば前記サーバ2では「今日は計画より負荷がかかりすぎています。十分に休息を取りましょう」というメッセージとともに推奨する整理運動を動画ファイルとして前記健康データ管理装置1に送信し前記表示部13に表示し使用者に適切な整理運動を紹介する。

## 【 0 0 1 5 】

## (実施の形態2)

健康関連データとして心拍数とあわせて歩数データを取得してもよい。前記サーバ2は使用者の運動計画を1日に心拍数90-110で10000歩以上歩くと設定し、前記健康データ管理装置1に送信する。前記健康データ管理装置1は目標値を前記表示部13に表示するとともに前記目標値記憶部14に記憶する。使用者は心拍検出部と歩数計を身体に取りつけ1日行動する。歩数計は前記健康データ管理装置を別体となってベルトに取りつけいるようになっていてもよいし、前記健康データ管理装置1に内蔵されており前記健康データ管理装置1を身体に取り付け行動し心拍データと歩数データを取得し前記健康関連データ記憶部15に記憶する。

## 【 0 0 1 6 】

前記健康データ管理装置1は予め設定された時間(例えば午後3時)になると前記サーバ2に前記健康管理データ記憶部15に記憶されている心拍数データと前記目標記憶部14に記憶されている目標値をともに前記サーバ2に送信する。歩数が4000歩と1日の目標が達成できそうでない値であった場合には前記サーバ2は「今日は歩数下少ないですね。目標の歩数を達成できそうに内容でしたら少し早足で歩くように心がけてください」とアドバイスを送る。

## 【発明の効果】

本発明によると、単にデータを取得するだけでなく、利用者に対して適切なアドバイスを与えることができるため、利用者は運動負荷をかけすぎて故障すると



か運動負荷が軽すぎて効果が少ないといったことがなくなり、健康を維持しながら適切な運動を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の健康データ管理装置の構成を示すブロック図である。

【図 2】 トレーニング計画表である。

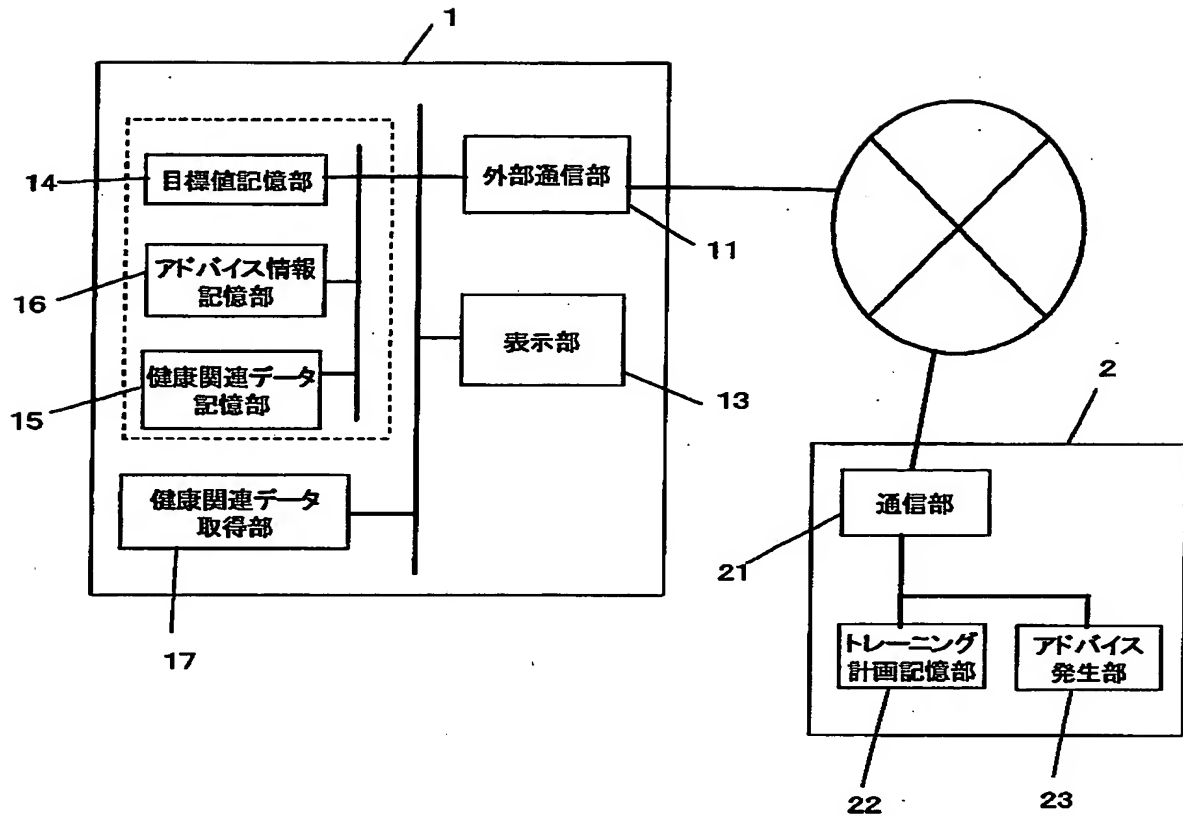
【符号の説明】

- 1       健康データ管理装置
- 2       サーバ
- 1 1     外部通信部
- 1 3     表示部
- 1 4     目標値記憶部
- 1 5     健康関連データ記憶部
- 1 6     アドバイス情報記憶部
- 1 7     健康関連データ取得部
- 2 1     通信部
- 2 2     トレーニング計画記憶部
- 2 3     アドバイス発生部

特2000-404973

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】

曜日	目標心拍数			
	120-140	140-160	160-172	>172
月	40分	40分	——	——
火	——	——	15分×3	——
水	——	——	——	——
木	40分	20分	——	3分×3
金	——	——	——	——
土	40分	40分	40分	——
日	60分	——	——	——

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 健康関連データを記憶するだけでなく、使用者に運動方法についてのアドバイスを与える装置を提供する。

【解決手段】 予め健康データ管理装置に運動の目標値をサーバから送信し設定しておき、使用者がある程度運動した後に目標値にそった運動をしているかサーバで判断し、使用者に対して適切なアドバイスを与える。

【選択図】 図1

職権訂正履歴（職権訂正）

特許出願の番号	特願 2000-404973
受付番号	20100010285
書類名	特許願
担当官	内山 晴美 7545
作成日	平成 13 年 2 月 23 日

<訂正内容 1>

訂正ドキュメント

明細書

訂正原因

職権による訂正

訂正メモ

【発明の詳細な説明】の項目名が脱落していますので、追加訂正します。

訂正前内容

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、・・・（省略）・・・

訂正後内容

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、・・・（省略）・・・

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000141897]

1. 変更年月日 2000年 6月12日  
[変更理由] 名称変更  
住 所 京都府京都市南区東九条西明田町57番地  
氏 名 アークレイ株式会社